

令和5年度

島田市総合計画 市民意識調査(速報値)

(抜粋版)

- ・本調査結果は、速報値のため、今後変更が生じる場合もあります。
- ・本調査結果は、地方創生に向けた設問について抜粋したものです。

調査概要

1. 調査方法

調査対象：島田市在住の18歳以上の市民2,500人

調査方法：郵送調査法及びWEB調査による

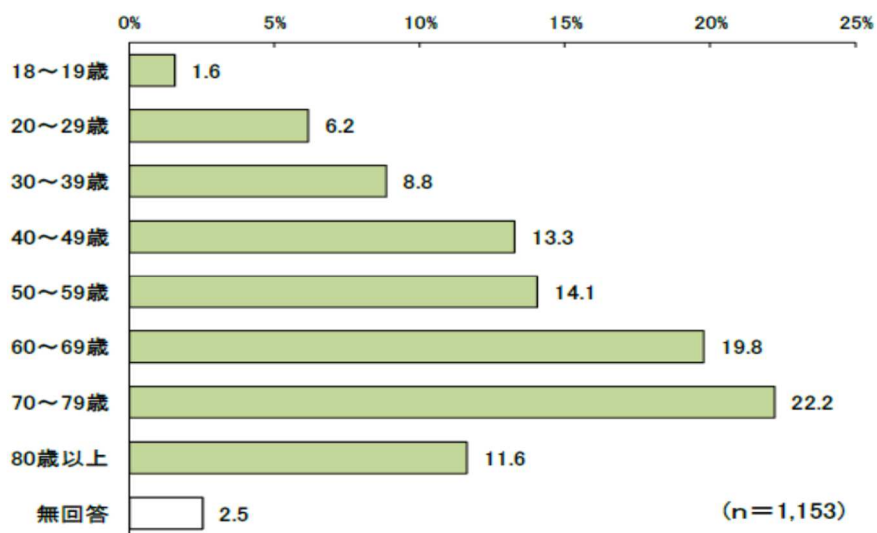
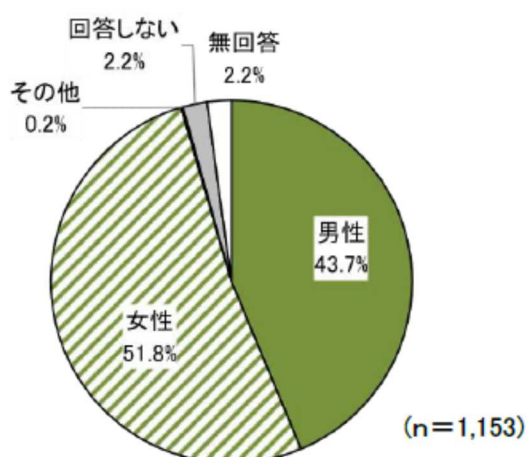
抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出

実施期間：令和5年6月1日(木)から令和5年6月30日(金)まで

2. 回収結果

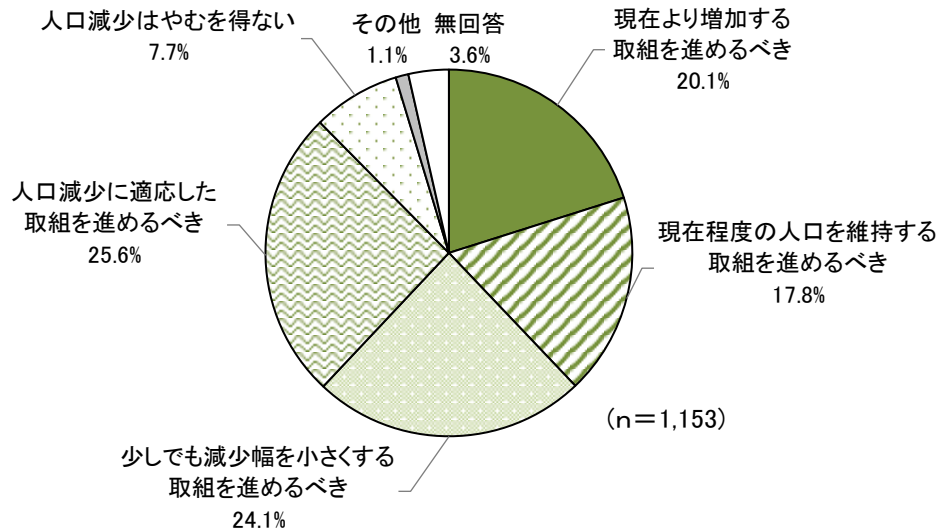
発送数	有効回収数	有効回収率
2,500票	1,153票(郵送回収・897票+WEB回収・256票)	46.1%

3. 回答者について



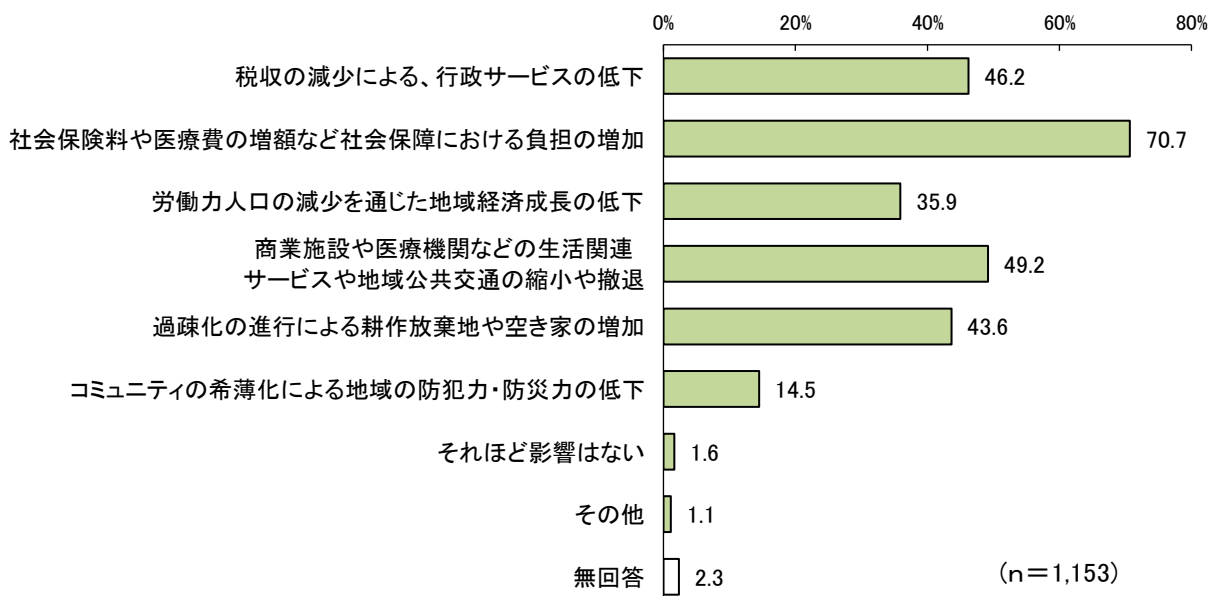
4. 地方創生に向けた取組について

問7 島田市の人口は現在 96,130 人（令和 5 年 3 月末現在）ですが、島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンでは 2060 年の人口を約 6 万 2 千人と推計しており、今後人口の減少が見込まれています。
このことについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（1つに○）



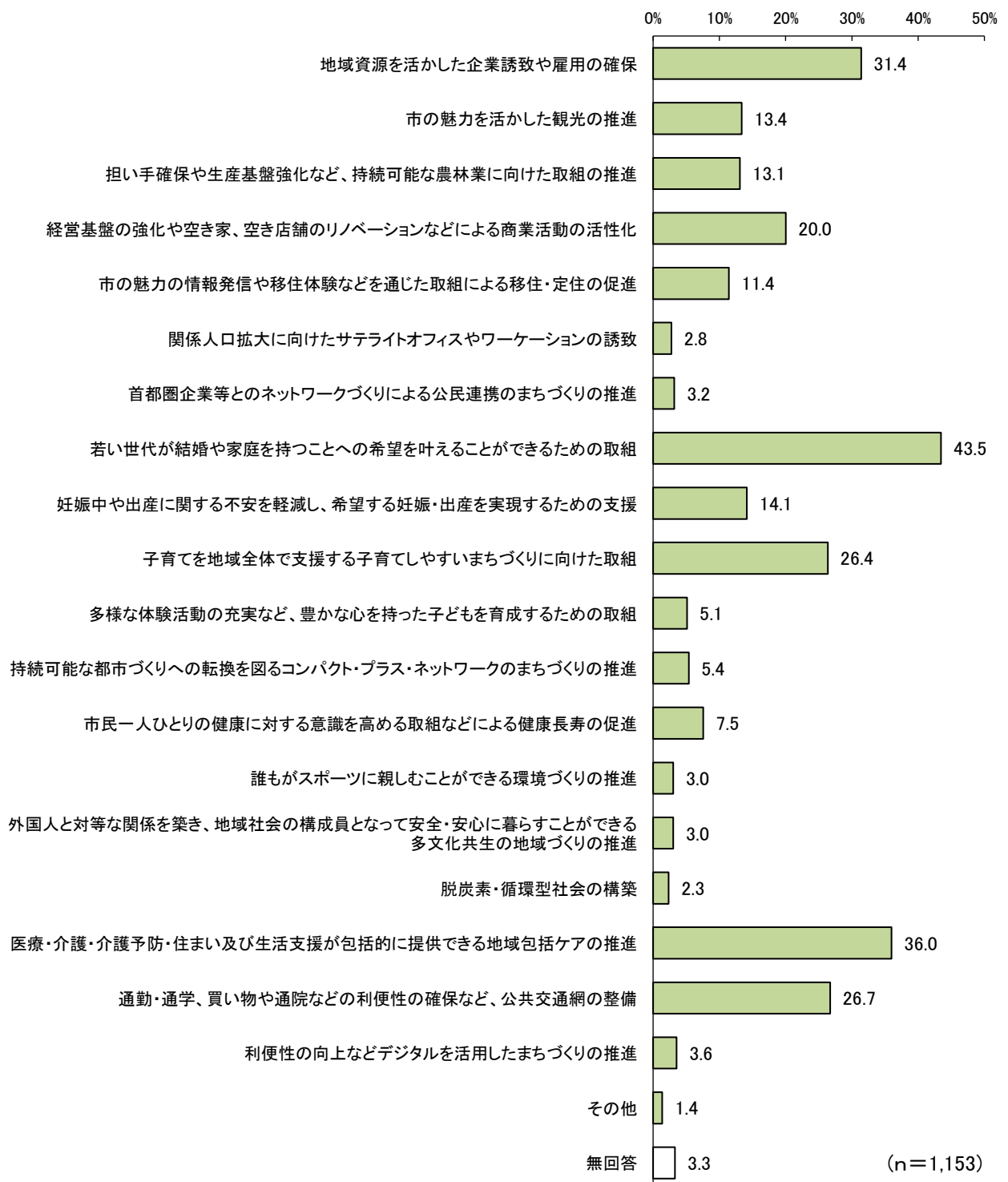
今後の人口問題への取組について、「人口減少に適応した取組を進めるべき」が 25.6%と最も多く、次いで「少しでも減少幅を小さくする取組を進めるべき」の 24.1%となりました。また、「現在より増加する取組を進めるべき」が 20.1%、「現在程度の人口を維持する取組を進めるべき」も 17.8%を占めています。

問8 今後の人口減少によって生じると考えられる社会への影響のうち、あなたが影響が大きいと考えること、または不安に感じることは何ですか。（あてはまるもの 3 つまでに○）



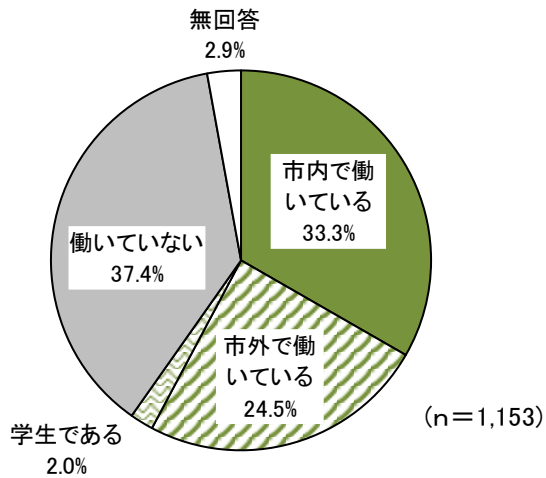
人口減少による影響について、「社会保険料や医療費の増額など社会保障における負担の増加」が 70.7%と最も高くなりました。

問9 今後の人口減少社会においても、持続可能な暮らしやすいまちづくりを行うために、重要と思われる取組は何ですか。
(あてはまるもの3つまでに○)



人口減少社会において重要と思われる取組について、「若い世代が結婚や家庭を持つことへの希望を叶えることができるための取組」が43.5%と最も高く、次いで、「医療・介護・介護予防・住まい及び生活支援が包括的に提供できる地域包括ケアの推進」の36.0%、「地域資源を活かした企業誘致や雇用の確保」の31.4%となりました。

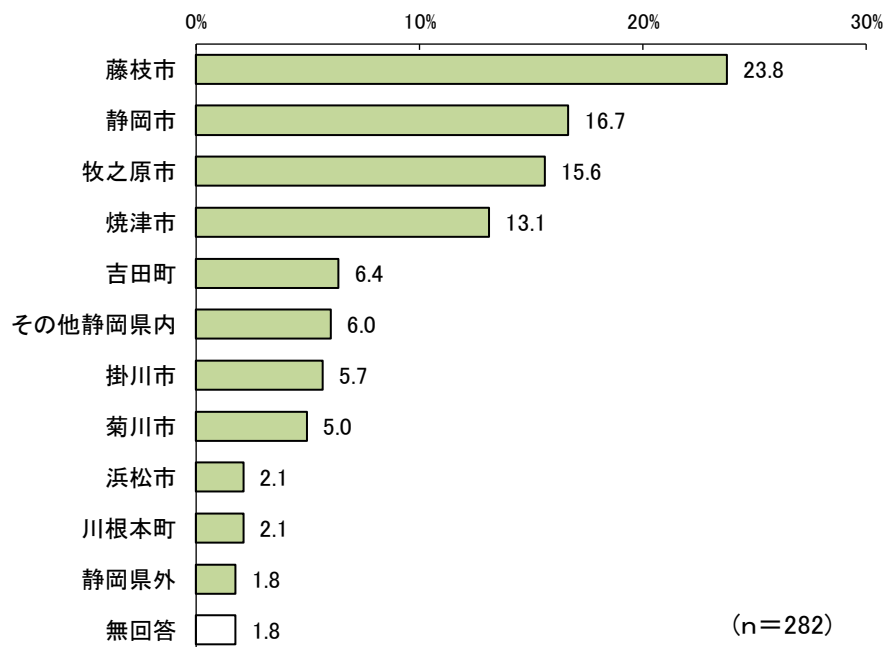
問 10 あなたは、現在、どこで働いていますか（就労形態は問わない）。 (1つに○)



「働いていない」が 37.4%と最も高く、次いで「市内で働いている」33.3%、「市外で働いている」24.5%となっています。

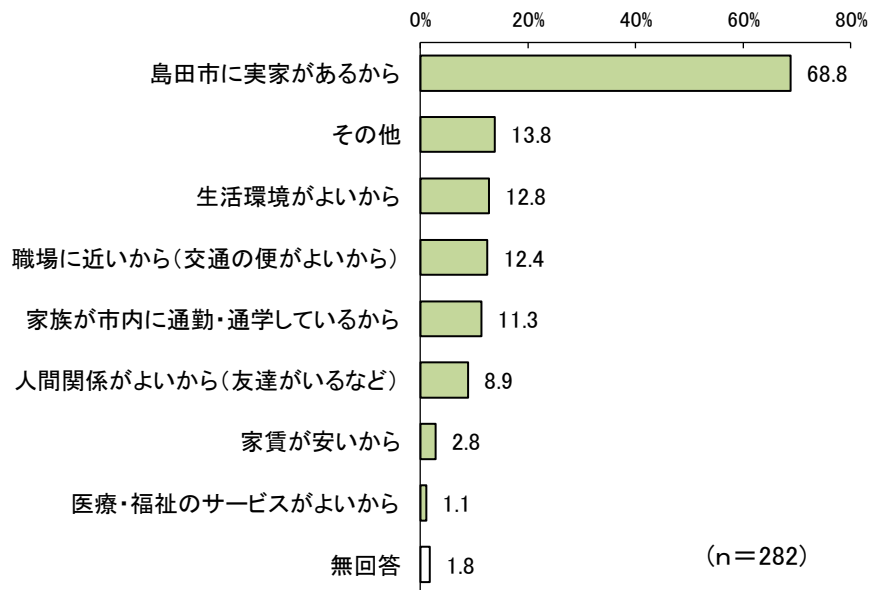
問 10で「2 市外で働いている」と回答した方におたずねします。問 10-2、問 10-3にお答えください。

問 10-2 どこで働いていますか。 (1つに○)



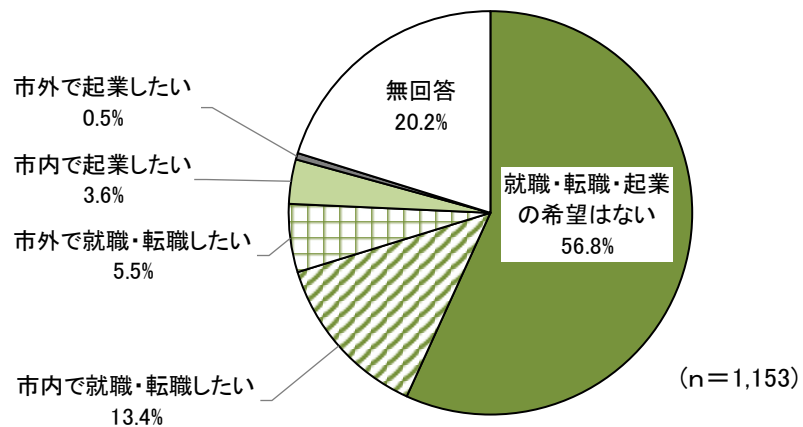
市外で働いていると回答した 282 人のうち、「藤枝市」が 23.8%と最も高く、次いで「静岡市」の 16.7%、「牧之原市」の 15.6%となっています。

問 10-3 通勤先の市町と異なる島田市に住んでいる理由は何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)



市外で働いていると回答した 282 人のうち、島田市に住んでいる理由として、「島田市に実家があるから」が 68.8%と最も高くなっています。

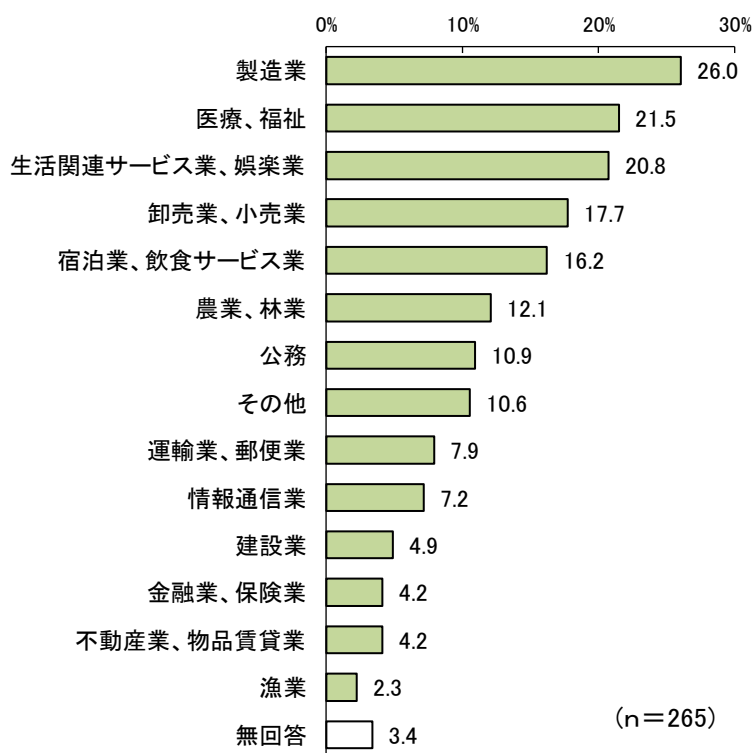
問 11 あなたは、今後、就職・転職・起業の希望がありますか。
 (1つに○)



今後の就職・転職・起業の希望について、「就職・転職・起業の希望はない」が 56.8%と最も高く、次いで「市内で就職・転職したい」の 13.4%となっています。

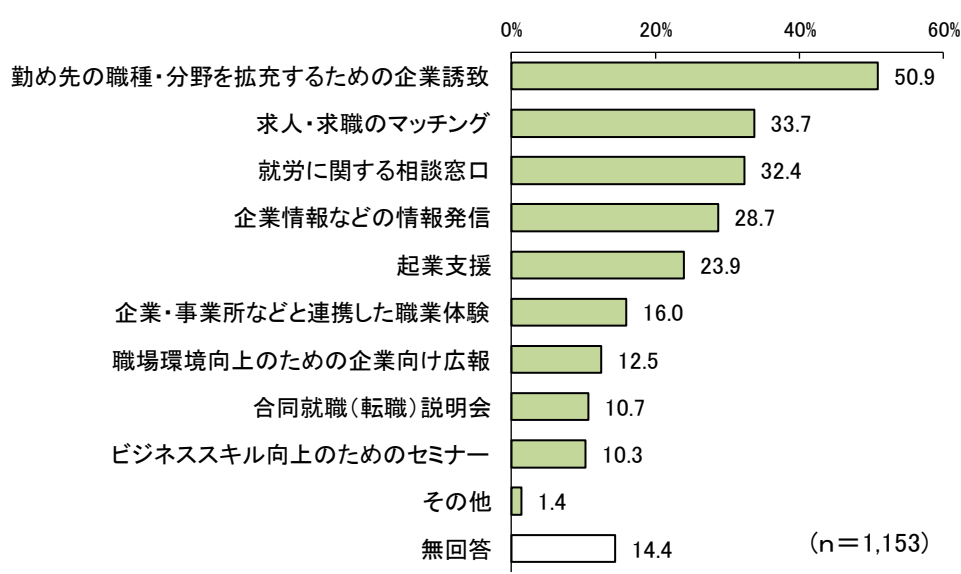
問 11 で就職・転職・起業の希望がある（2～5）と回答した方におたずねします。

問 11-2 どの分野の仕事を希望しますか。 (あてはまるものすべてに○)



希望する仕事の分野について、「製造業」が26.0%と最も高く、次いで「医療、福祉」21.5%、「生活関連サービス業、娯楽業」20.8%となっています。

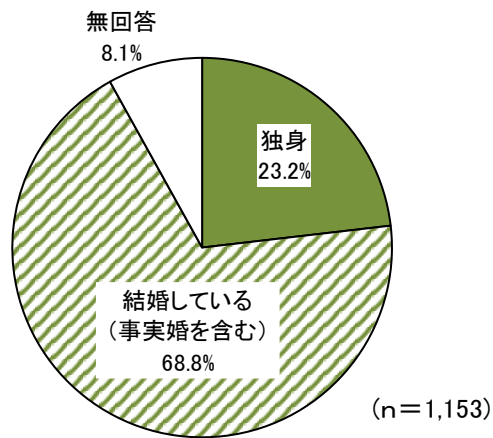
問 12 市内で働く人を増やすために、島田市が取り組むべきと感じるものは何ですか。 (あてはまるものすべてに○)



市内で働く人を増やすための取組として、「勤め先の職種・分野を拡充するための企業誘致」が50.9%と最も高くなりました。

問 13 あなたは、現在、結婚していますか。

(1つに○)

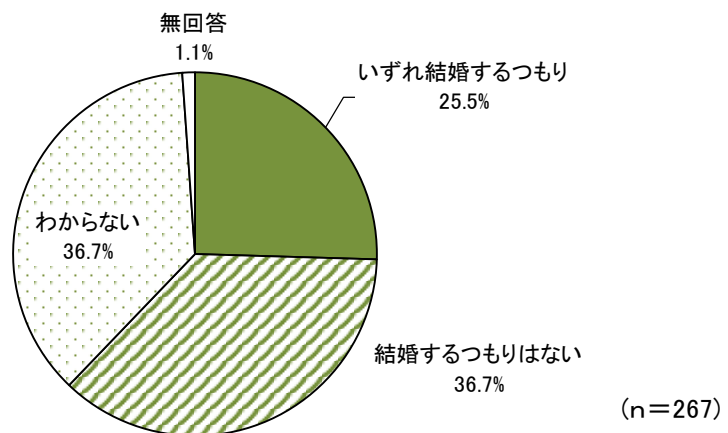


「結婚している (事実婚を含む)」が 68.8%と 7 割近くを占めています。

問 13 で「1 独身」と回答した方におたずねします。問 13-2、問 13-3、問 13-4 にお答えください。

問 13-2 今後の結婚に関するあなたの希望は、どれにあてはまりますか。

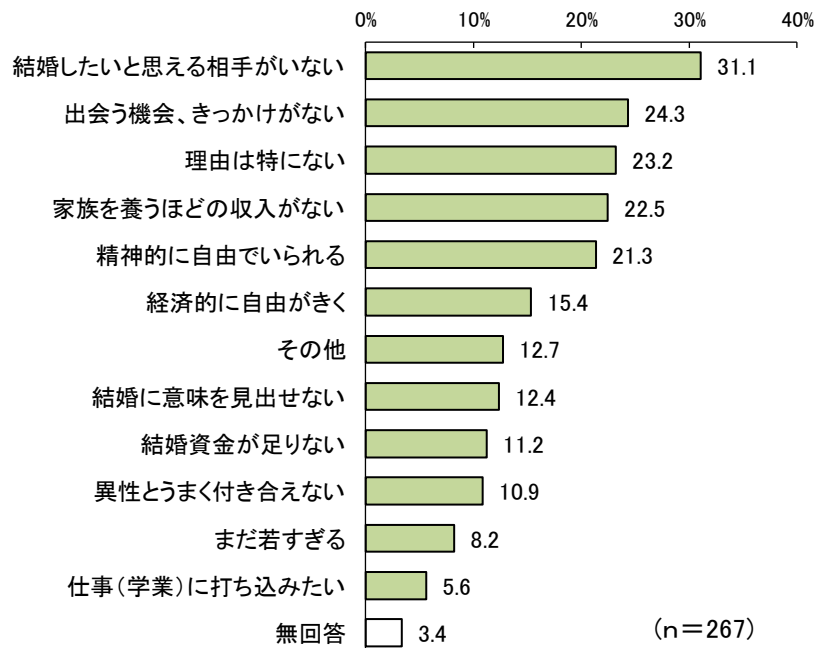
(1つに○)



独身と回答した 267 人のうち、「結婚するつもりはない」が 36.7%と最も高くなっています。

問 13-3 現在、結婚していない理由は何ですか。

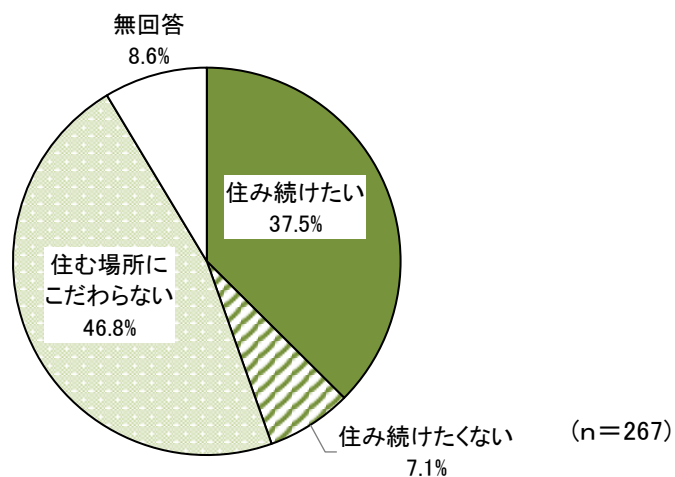
(あてはまるものすべてに○)



「結婚したいと思える相手がいない」が31.1%と最も高く、次いで「出会う機会、きっかけがない」の24.3%となっています。

問 13-4 結婚した場合、島田市に住み続けたいと思いますか。

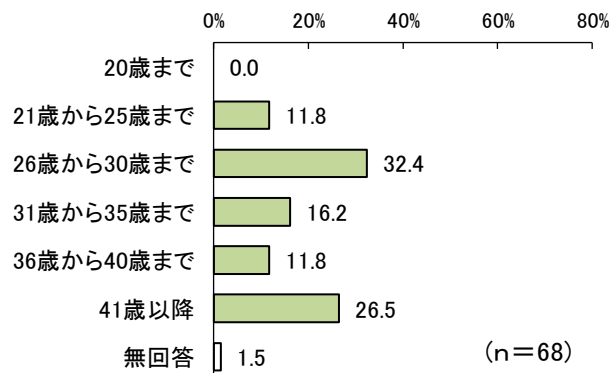
(1つに○)



結婚した場合、「住む場所にこだわらない」が46.8%、島田市に「住み続けたい」は37.5%になりました。

問 13-2 で「1 いずれ結婚するつもり」と回答した方におたずねします。

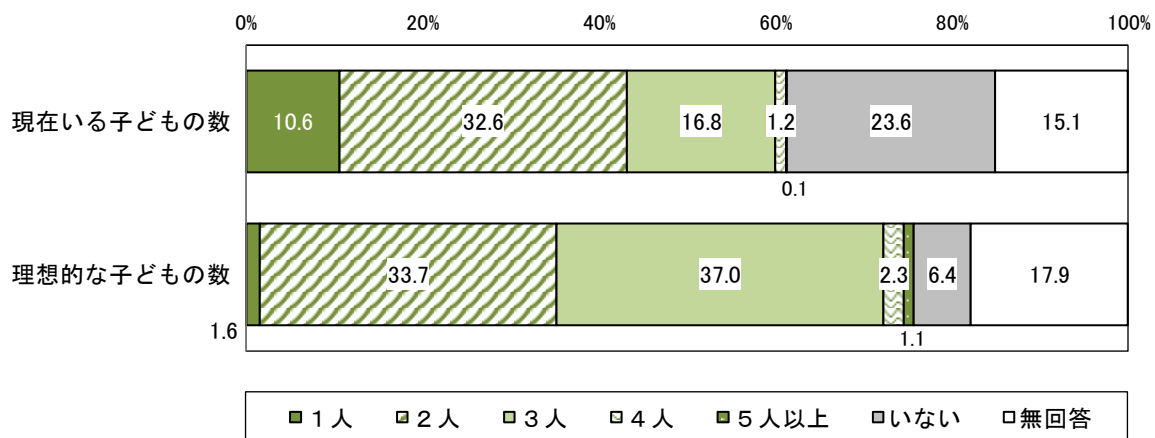
問 13-5 何歳までに結婚したいですか。 (1つに○)



いずれ結婚するつもりと回答した 68 人のうち、「26 歳から 30 歳まで」が 32.4%、「41 歳以降」が 26.5%となりました。

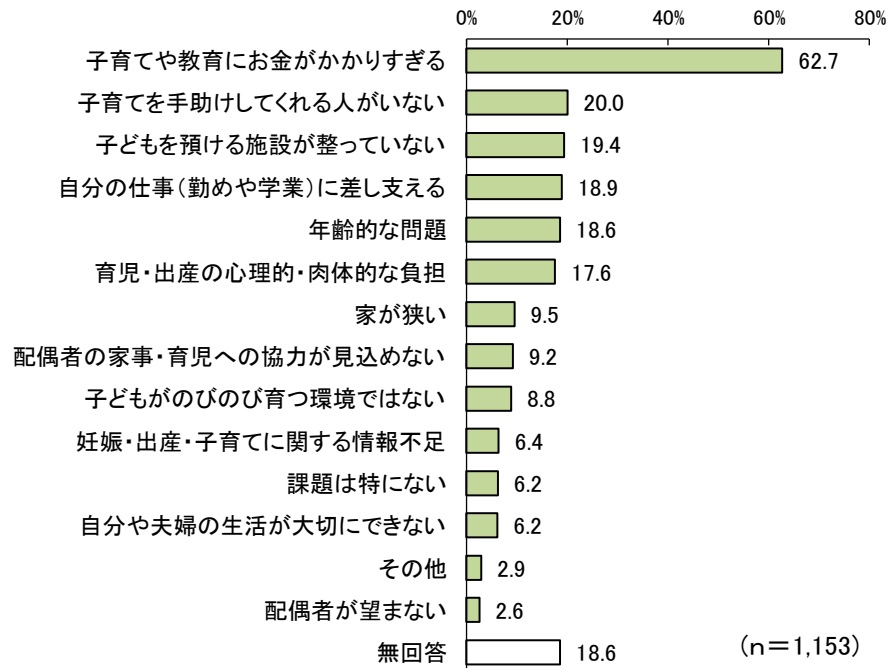
問 14 あなたは、現在、何人の子どもがいますか。 (1つに○)

問 15 あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか。 (1つに○)



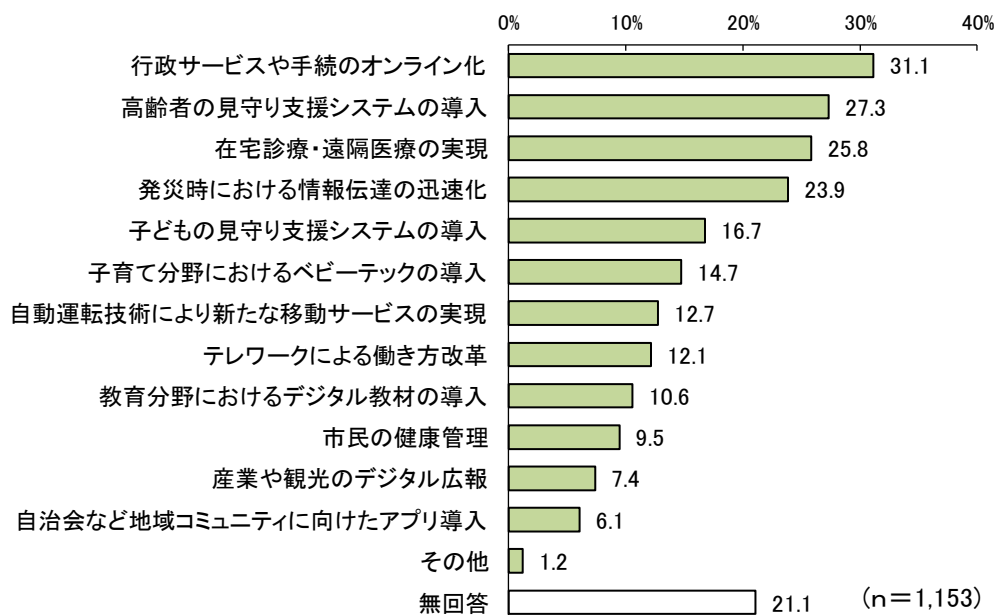
現在いる子どもの数は、「2人」が 32.6%と最も高く、次いで「いない」の 23.6%、「3人」の 16.8%となりました。
一方、理想的な子どもの数では、「3人」が 37.0%と最も高く、次いで「2人」の 33.7%となっています。

問 16 理想的な子どもの数を実現するために、課題となること（なりそうなこと）は何ですか。
（あてはまるものすべてに○）



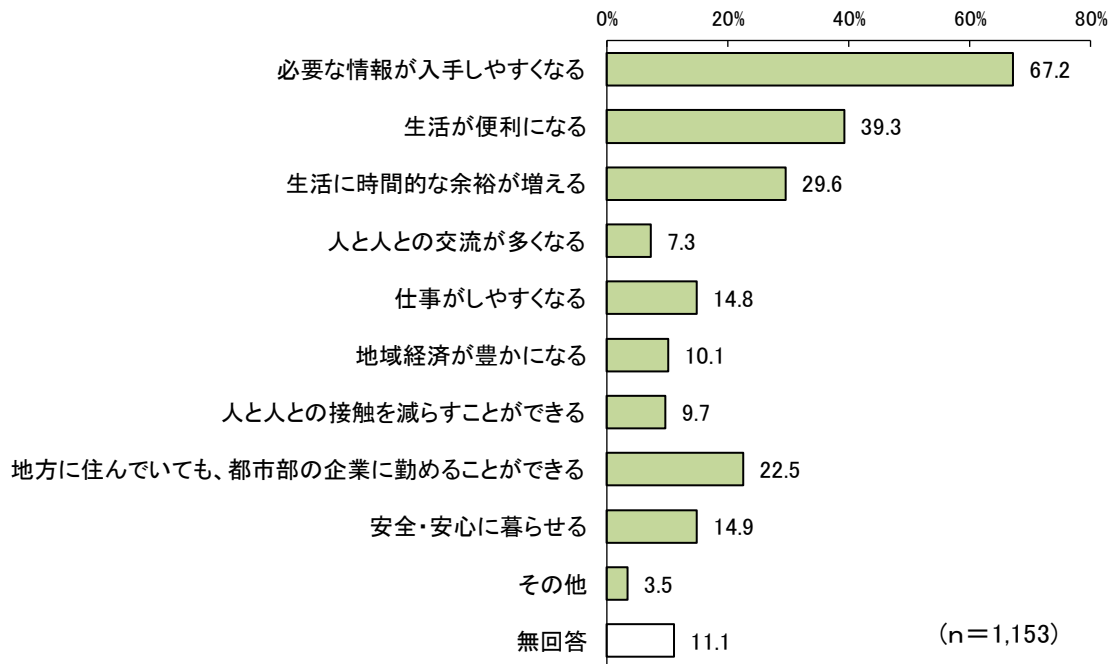
課題となること（なりそうなこと）として、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」と回答した人が 62.7%となりました。

問 17 デジタル技術の活用について、期待する取組は何ですか。
（あてはまるもの3つまでに○）



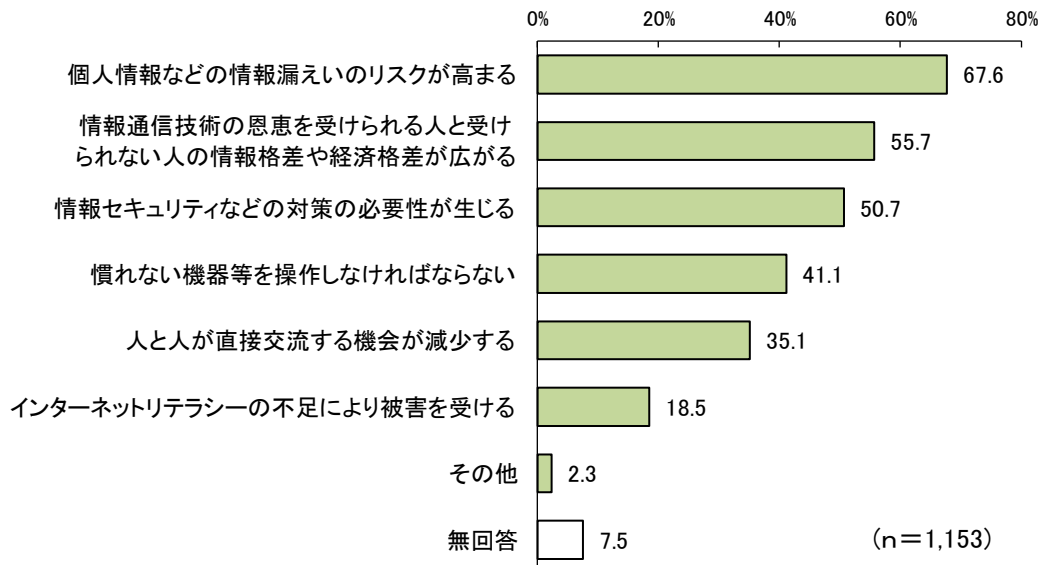
デジタル技術を活用した取組について、「行政サービスや手続のオンライン化」が 31.1%と最も高く、次いで「高齢者の見守り支援システムの導入」27.3%、「在宅診療・遠隔医療の実現」25.8%となりました。

問 18 デジタル化が進展することによって期待する効果について、どのように考えていますか。
(あてはまるものすべてに○)



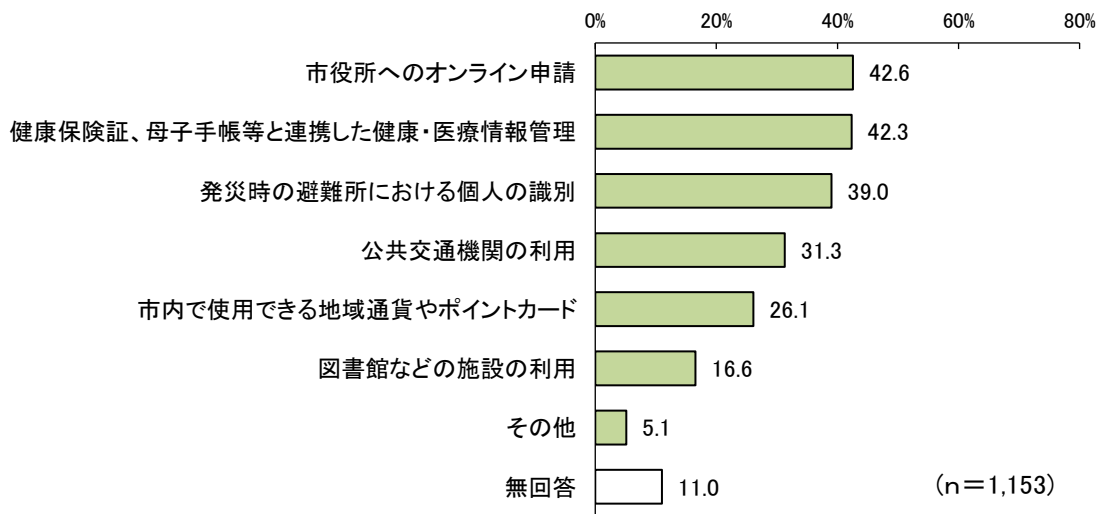
デジタル化の進展による効果について、「必要な情報が入手しやすくなる」が 67.2%と最も高く、次いで「生活が便利になる」の 39.3%となりました。

問 19 デジタル化が進展することによって、どのような不安を感じますか。
(あてはまるものすべてに○)



デジタル化の進展への不安について、「個人情報などの情報漏えいのリスクが高まる」が 67.6%と最も高く、次いで「情報通信技術の恩恵を受けられる人と受けられない人の情報格差や経済格差が広がる」の 55.7%となりました。

問 20 マイナンバーカードを活用して受けられるサービスとして、どのようなものを望みますか。
(あてはまるものすべてに○)



マイナンバーカードを活用したサービスについて、「市役所へのオンライン申請」が 42.6%と最も高く、次いで「健康保険証、母子手帳等と連携した健康・医療情報管理」の 42.3%となりました。